PART1　品詞

★品詞＝十個（名詞・動詞・形容詞・形容動詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞・助動詞・助詞）

〈自立語〉＝単独で文節を作ることができる語。

名詞…事物（人物・場所・物質など）の名前をあらわす語。⬇「　　」

動詞…**動作**・**存在**をあらわす語。

形容詞…事物の**性質**・**状態**をあらわす語。「～　」で終わる。

形容動詞…事物の**性質**・**状態**をあらわす語。「～　」・「～　」で終わる。

（形容詞・形容動詞）⬇「　　」

副詞…用言を修飾する語。

連体詞…体言を修飾する語。

接続詞…文と文をつなぐ語。前後の文脈の関係をあらわす語。

感動詞…感動・呼びかけ・応答・掛け声などをあらわす語。

〈付属語〉＝自立語（や助動詞）に付いて、文節の一部として用いられる語。

助動詞…用言や体言などに付いて、意味を加える語。

助詞…自立語（や助動詞）に付いて、意味を添えたり、ことばの働きをあらわしたりする語。

（例）昔、男ありけり。

〈Memo〉

第２講　PART1　確認問題

①　次の中から体言を選べ。

ア　副詞　　イ　連体詞　　ウ　感動詞　　エ　名詞

②　次の中から用言でないものを選べ。

ア　動詞　　イ　助動詞　　ウ　形容詞　　エ　形容動詞

③　文中の用言を、次の中から選べ。

「あるところに、一人の僧なむありけり。」

ア　ある　　イ　ところ　　ウ　あり　　エ　けり

④　文中の用言を、次の中から選べ。

「いと静かなる、かの秋の日の月夜なり。」

ア　いと　イ　静かなる　ウ　かの　エ　なり

⑤　文中の体言を、次の中から選べ。

「そのうつくしさ、限りなしと思ひけり。」

ア　その　イ　うつくしさ　ウ　限りなし　エ　思ひけり

第2講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① 体言＝名詞。副詞・連体詞・感動詞は活用しない自立語である。

② 用言＝動詞・形容詞・形容動詞。助動詞は用言ではないので、正解はイとなる。

③ 「ある」＝連体詞、「ところ」＝名詞、「あり」＝動詞、「けり」＝助動詞となる。

④ 「いと」＝副詞、「静かなる（静かなり）」＝形容動詞、「かの」＝連体詞、「なり」＝助動詞となる。

⑤ 「その」＝連体詞、「うつくしさ」＝名詞、「限りなし」＝形容詞、「思ひけり」＝動詞（「思ふ」）＋助動詞（「けり」）となる。

〔解答〕

① エ　② イ　③ ウ　④ イ　⑤ イ